

令和 7 年度 事業計画書

〔1〕 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業 1）

1. 学術講演会の開催

- ・第 121 回学術講演会を行う。

開催日 令和 7 年 10 月 16 日、17 日

場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）

参加予定者数 約 600 名

2. 特別シンポジウムの開催

- ・第 27 回特別シンポジウムを行う（関東ブロック）。

[テーマ：計画中]

開催日 令和 8 年 1 月～3 月

場 所 未定（東京都内での開催を予定）

- ・各地方ブロックで、ブロックイベントを行う。

[テーマ：未定] ※令和 7-8 年度の活性化委員・ブロック担当理事が決定し
次第、順次、企画内容の検討を実施予定

開催日 未定

場 所 未定

3. 公開講演会

- ・令和 7 年度公開シンポジウムを行う。

テーマ「機能性表示食品の安全性とリスク」

開催日 令和 7 年 5 月 30 日

場 所 食品衛生センター（東京都台東区）

内 容 「機能性表示食品の現状と課題」

今川正紀（消費者庁）

「機能性表示食品におけるリスクコミュニケーションのあり方」

山崎毅（NPO 法人食の安全と安心を科学する会）

参加予定者数 約 100 名

4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2025 食の安全・科学フォーラム 第 24 回セミナー」を行う。

開催日 令和 7 年 5 月 21 日

場 所 東京ビックサイト 会議棟

内 容 食品添加物の国際整合性と食肉の衛生管理

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う。

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌（6冊）	第66巻2号～6号	各発行部数	1,700部
	第67巻1号	発行部数	1,700部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	500部
第121回学術講演会要旨集		発行部数	900部

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業3）

- ・令和7年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第121回学術講演会において下記の受賞者に対して行う。

「学術貢献賞受賞者」

吹譯友秀（千葉県衛生研究所）「いわゆる健康食品中の医薬品成分等の分析化学的研究」

「奨励賞受賞者」

石田恵崇（山形県衛生研究所）「ドクササコに含有される有毒成分の精製および多成分同時分析法に関する研究」

- ・食品衛生学雑誌第65巻論文賞授賞式を第121回学術講演会において下記の受賞者に対して行う。

「呈色反応を用いたツキヨタケ簡易鑑別法における呈色化合物の特定（報文）」食衛誌第65巻第6号，p.137～141 篠原秀幸*，大河原龍馬，赤塚亮太，佐藤昌宏，長岡由香 * 山形県衛生研究所

「甲殻類アレルギー物質検査で偽陽性をもたらすアミを検出するためのPCR法の構築（報文）」食衛誌第65巻第3号，p.48～52 菅野陽平*，青塚圭二，細川葵，鈴木智宏 *北海道立衛生研究所

「食品用ラミネートフィルムに含まれる金属類の溶出（報文）」第65巻第6号，p.142～153 岸 映里*，尾崎麻子，新矢将尚 *地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業4）

- ・令和7年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。

〔5〕その他

- ・会員の相互扶助事業については下記の内容で実施する。

1. 会員限定「学術小集会：FHS コミュニティ」

6月開催（年数回の開催を目標）

2. 会員限定のメルマガを配信する。月1回配信

3. 論文作成に関する相談会を開催予定。

〔6〕 総会・理事会の開催

- ・ 令和7年度総会を下記のとおり行う。

開催日	令和7年5月30日
場 所	食品衛生センター（東京都台東区）
議 案	令和6年度事業報告および同決算報告 令和7年度理事の承認 定款変更の承認 名誉会員の推挙

- ・ 4月、10月、2月に理事会を行う。